

# 人々の命を守るという仕事



からせいのNEWSLINE

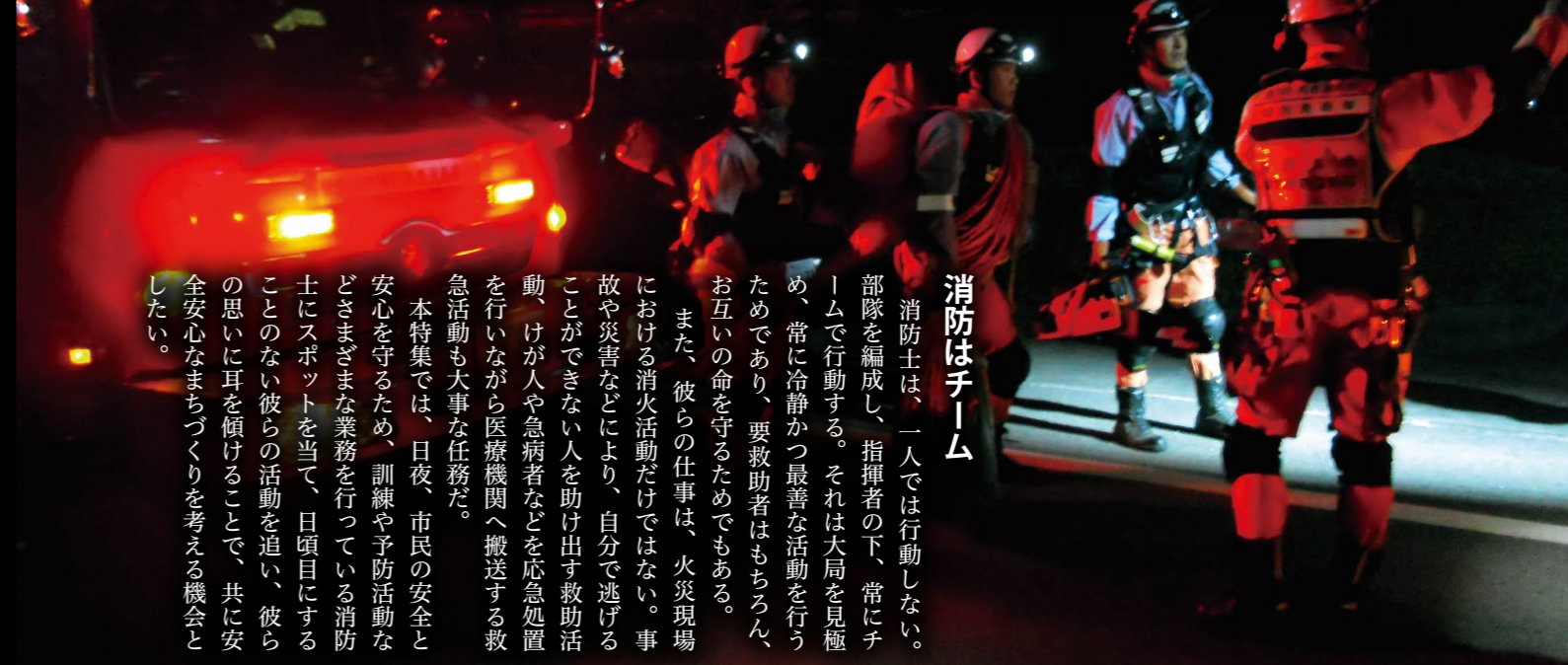
私たちが暮らすまち薩摩川内市。このまちで私たちの生命と財産を守るため、いつも見守ってくれている目がある。

私たちが仕事をしているとき、眠っているとき、そして今この時も、24時間体制でまちを見守りながら、出場（出動ではなく、現場に赴くという意味で出場と呼ぶ）を要する事象の際には、素早く現場に駆け付け、常に危険と隣り合わせで、消火、救助、救急活動などを行う。それが消防士であり、その組織が消防局だ。

## 組織としての消防

消防局は、消防本部と消防署の大きく2つの組織に分かれている。さらに消防本部は、予算、人事、消防機材や施設の整備などを担当する①消防総務課、消防局、消防団の現場活動における調整および訓練を企画立案する②警防課、火災の原因調査や事業者などの防火管理状況および危険物施設の規制を行う③予防課、119番の通報受理や出場指令を統括する④通信指令課の4つに分かれている。

また、現場活動を展開する職員が所属する消防署は、中央・東部・西部消防署の3つに大きく分かれ、さらに南部・祁答院分署と上観・下観分駐所がある。



## 消防はチーム

消防士は、一人では行動しない。部隊を編成し、指揮者の下、常にチームで行動する。それは大局を見極め、常に冷静かつ最善な活動を行うためであり、要救助者はもちろん、お互いの命を守るためでもある。

また、彼らの仕事は、火災現場における消火活動だけではない。事故や災害などにより、自分で逃げる事ができない人を助け出す救助活動、けが人や急病者などを応急処置を行いながら医療機関へ搬送する救急活動も大事な任務だ。

本特集では、日夜、市民の安全と安心を守るため、訓練や予防活動などさまざまな業務を行っている消防士にスポットを当て、日頃目にする事のない彼らの活動を追い、彼らの思いに耳を傾けることで、共に安全安心なまちづくりを考える機会としたい。

# 緊急通報

## 消防署内に緊張が走る

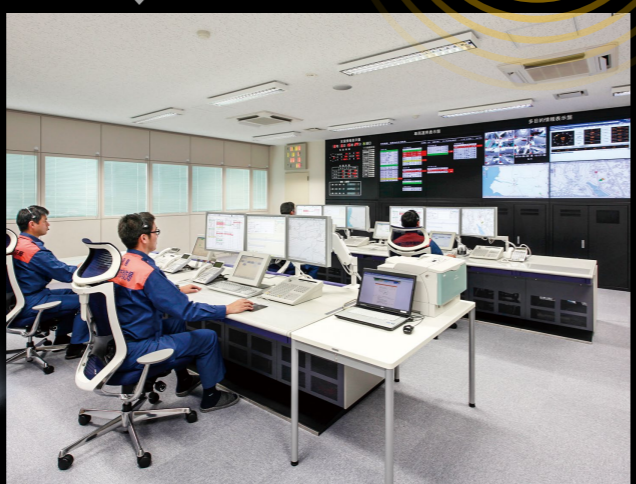
### 一秒でも早く現場へ

消防士は24時間の交代勤務。緊急通報時に一秒でも早く現場に急行できるように車両・機材の点検、訓練などを行う。現場の状況はさまざまであるが、どんなに過酷な現場にも耐えられるよう、トレーニングや訓練には多くの時間を割き、強靱な肉体をつくりあげている。



1 4さまざまな状況を想定した訓練  
2 体力トレーニング 3 車両・機材の点検

## 火災の緊急通報 (119番通報)



▲通信指令室へ緊急通報が入る

火災の被害を最小限に抑える。それが消防士の任務だ。火災の119番通報が通信指令室に入り、発生場所、火災の概要が分かる。ただちに、署内に指令が鳴り響く。素早く階段を駆け降り、出場準備室で防火服に着替えながら、指令室から送られてくる現場の位置情報をモニターで確認。その後、消防車に乗り込み出場する。指令が鳴ってからここまでわずか1分。

現場に向かう全車両で無線が飛び交い、活動指針を共有する。そして現場に到着すると火災の被害を食い止めるために確実、迅速に状況に合わせた活動を行う。



▶事務室から階段を駆け降りる

▼防火服に着替えながらモニターで現場の位置情報を確認



## 出場

